

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立春日北小学校

校長 下田 秀人

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成29年4月18日(火)

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語A、算数A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語B、算数B〕
<ul style="list-style-type: none"><li>身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

### ■ 調査結果及び考察について

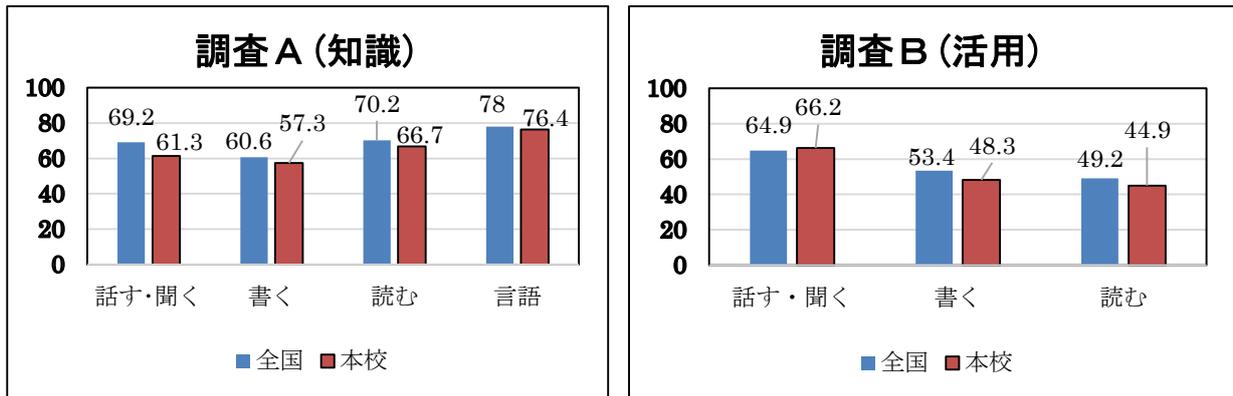
全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1. 国語

#### (1) 結果

全国正答率との比較



平均の正答率は、A・B問題の両方とも全国平均を下回る結果であった。分布の割合を見ると特に調査B問題で、中位の児童の割合より低位の児童の割合が多いことが分かる。全体的には全国平均と比べても無回答率が低く、時間いっぱい問題に取り組んで解こうとした結果といえる。

#### (2) 成果と課題

##### 話す・聞く

- ・話す際に、メモを基に目的や意図に応じて構成や内容を工夫し、自分の考えを話すことはできていた。相手の話を聞く際、自分の考えと比べ、共通点や相違点を整理しながら工夫して聞くところに課題がある。

##### 書く

- ・書かれている内容を基に、必要な内容を整理して詳しく書く問題の正答率が低かった。書くことの条件を落とさずに、整理して書く力をつける必要がある。

##### 読む

- ・具体的な叙述を基に、理由を明確にして、自分の考えをまとめる問題に課題が見られた。文章の前後を注意深く読み、根拠となる言葉に注目しながら読むなどの効果的な読み方を工夫する必要がある。

##### 言語事項

- ・漢字の読みやことわざの意味を問う問題の正答率は、全国平均を上回っていた。しかし漢字の書き取りは正答率が低く、正確に書く力をつける必要がある。また、いろいろな言葉を使えるような語彙力を増やす必要がある。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

- 相手の話を聞く際は、自分の意見と比べて共通点や相違点を考えながら、最後まで聞くようにしていきます。
- 学び合う活動の中で、理由や根拠を分かりやすく説明する力をつけていきます。
- 朝の「あすなる読書」や学級の読書の時間を有効に使い、図書館からのおすすめの本「ブックチャレンジ」などを利用して年間100冊を目標に読書力をつけるようにしていきます。
- 朝の時間の「国語タイム」で、条件作文や語彙力をつける問題に取り組みせ、条件に合った文章を書いたり、言葉や語彙を豊かにしたりしていきます。

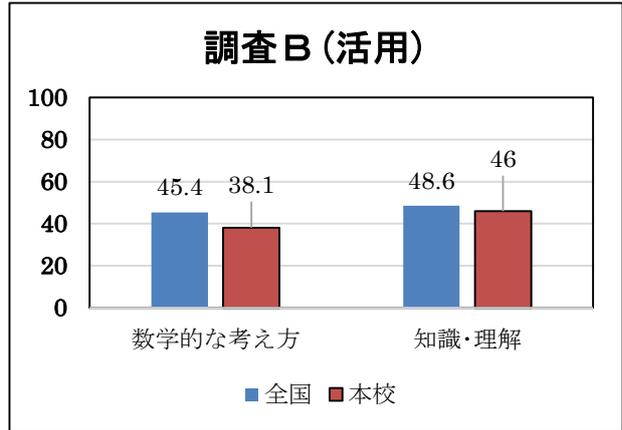
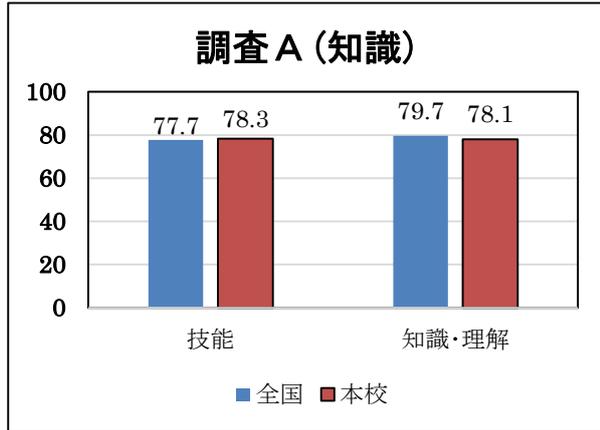
##### 【ご家庭では】

- 社会の中で起こった出来事について家庭の中で話題にして、家族と話す習慣をつけてください。
- お子さんとの会話を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきり話すようにさせましょう。
- 親子読書などに取り組み、家庭での読書を薦め、語彙力と知識の幅を広げましょう。

## 2. 算数

### (1) 結果

全国正答率との比較



平均の正答率は、A問題は全国平均とほぼ同等であったが、B問題の数学的な考え方が全国平均に比べ7ポイント以上下回っていた。この結果から基本的な学習は身につけているが、発展的に考える力、活用する力に課題があるといえる。

### (2) 成果と課題

#### 数学的な考え方

- ・示された二つの数量関係を一般化して捉え、そのきまりを記述する問題に課題が見られた。また、基準量と割合を基に、比較量を判断し、理由を説明する問題にも課題があった。

#### 数量や図形についての技能

- ・整数の乗法の計算や、商を分数で表したり二つの数の最小公倍数を求めたりする基礎的な技能は、全国平均を上回っている。加法と乗法の混合した計算では、計算のきまりに関する誤答があり、課題が見られた。

#### 数量や図形についての知識・理解

- ・図形領域で、平行四辺形と三角形において、底辺、高さと面積の関係を正しく理解できていない児童がいた。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 「計算ドリル3回」の取り組みで、基礎基本の力をつけています。
- 授業では、「めあて」と「まとめ」を明確にし、学習のねらいを確実に意識させます。自力解決、学び合う活動、まとめ、振り返りと一連の流れを仕組み、友達の見解を吟味させたり、根拠を説明したりする言語活動を多く取り入れ、みんなで理解を深める学習を実践します。
- 週末に取り組む「チャレンジ算数プリント」の内容を吟味し、続けて取り組ませます。
- 朝の時間の「算数タイム」を、全校一斉に実施し、計算力向上と集中力を身につけさせていきます。
- 算数で学習したことが、次の算数の授業や他教科の学習の様々なところ、日々の生活の中などで活用されていることに気付かせ、算数のよさを実感できるようにしていきます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんの学習について、理解の度合いなどの把握に努めてください。宿題プリントや計算ドリルをしている様子を見ていただき、励ますなどの声かけを行うことで、お子さんの意欲と自信を高めましょう。
- 算数の学習を生活の中で生かすような体験をさせましょう。買い物の時に、単位に目を向けたり、割引額などを一緒に計算したり、材料は身近にたくさんあります。ぜひお試しください。

### 3. 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

#### 《生活習慣について》

調査項目		本校 %	全国平均%
1	朝食を毎日食べていますか。	83.1	87.0
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	39.0	38.2
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	58.4	58.9
4	普段、1日当たり2時間以上テレビやDVDを見る。	48.1	55.7
5	普段、1日当たり2時間以上ゲームをする	18.2	31.3
6	普段、1日当たり30分以上読書をしている。	36.4	36.5
7	普段、1日当たり10分未満または全く読書をしていない。	35.1	36.6

生活習慣についての様子を見てみると、朝食は、ほとんどの児童が食べてきているが、寝る時刻が決まっている児童が39%ほどである。本校は「早寝・早起き・朝ごはん」を家庭へ呼びかけているが、「早寝」については、規則的な生活習慣を身につけるためにも、家庭の協力が必要である。

1日当たり2時間以上テレビやDVDを見ている子どもの割合は低い。2時間以上ゲームをする子どもの割合も、全国平均より低い数値だが4時間以上ゲームをしている児童が10%を超えており、長時間のゲームが常習となっている児童が多いようである。「北っ子ががんばろう週間」などを利用して、読書や自主学習の時間、または家族との会話などの時間に使うように呼びかける必要がある。

読書については、全国平均とほぼ同じ割合で30分以上してはいるが、その反面10分未満または全く読書をしていない児童も35%を超えているので、読書の奨励を更に呼びかける必要がある。

#### 《家庭学習の様子》

調査項目		本校 %	全国平均%
1	普段、1日当たり2時間以上勉強している。	28.6	27.1
2	普段、1日当たり1～2時間勉強している。	51.9	37.3
3	普段、1日当たり0～1時間勉強している。	19.5	35.6
4	家で学校の宿題をしている。(どちらかといえばしているを含む)	97.4	96.9
5	家で学校の授業の予習をしている。(どちらかといえばも含む)	35.1	41.0
6	家で学校の授業の復習をしている。(どちらかといえばも含む)	40.3	53.8

家庭学習の時間は、普段1時間以上している児童が80%を超えている。しかし、1時間未満の児童も20%近くおり、宿題のみの児童が多いこともうかがえる。予習、復習については、全国平均を下回っているが、自主学習などにも取り組み、家庭学習の方法や内容を工夫している。また、忘れ物を減らすための学校での指導と家庭への協力の呼びかけも継続して取り組んでいく必要がある。

#### (2) 改善に向けての取り組み

【学校では】「子どもを伸ばす5つの柱」を中心に、全職員で、更なる学力向上につながる習慣づくり、環境づくりに努めていきます。また毎月第2週の「北っ子ががんばろう週間」の啓発も行っています。

\* 「子どもを伸ばす5つの柱」

か…環境をととのえ    す…すっきり生活    が…学習をがんばり  
き…絆を深め            た…タイム（時間）を大切に

【ご家庭では】家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認いただき、家庭学習の充実を図っていただきたいと思います。早寝早起きの規則的な生活習慣のリズムの確立やテレビやゲームの時間を決めるなどの家庭でのルールづくりにもご協力ください。